

NEWS RELEASE



2026年2月27日

株式会社みずほ銀行
株式会社パワーエックス
株式会社海上パワーグリッド

みずほ銀行による海上パワーグリッドへの出資について ～電気運搬船による再生可能エネルギーの輸送手段構築に向けて～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社パワーエックス（取締役 代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕、以下「パワーエックス」）の子会社で、電気運搬船を活用した再生可能エネルギーの海上送電の事業化に取り組む株式会社海上パワーグリッド（代表取締役社長：大西 英之、以下「海上パワーグリッド」）への出資を決定しました。本出資は、みずほ銀行の「トランジション投資枠」※を活用したもので、みずほ銀行およびパワーエックス、海上パワーグリッドの3社は今後、連携して電気運搬船の社会実装に向けた取り組みを推進していきます。

海上パワーグリッドは、パワーエックスが有する蓄電池の運用・制御技術を用いて、船舶に搭載した蓄電池に電気を蓄電し、海上運送によって離島や沿岸地域へ安定的かつ効率的に電力を供給する電気運搬船の世界初の社会実装に向け取り組んでいます。これにより、従来の離島や沿岸地域への送電における海底ケーブル設置に伴う高コストや地理的制約といった課題に対し、新たな解決策を提供することを目指します。

みずほ銀行は、環境・社会の持続性向上に資する領域での実証・創業段階の技術やビジネスモデルを有するプロジェクト等へ戦略的に出資することを通じ、お客さまとともに社会実装を後押しする取り組みを進めています。本出資を通じ、本事業の社会実装に向けては、離島や沿岸地域をはじめとした地域でのエネルギーに関する課題の発掘や、再生可能エネルギーの利用地域拡大に向けて必要となる金融サポートにも取り組んでいきます。

海上パワーグリッドでは、既に、本取り組みの一部として、屋久島の水力発電によって得られるクリーン電力を、電気運搬船により種子島をはじめとする周辺離島へ運搬する事業の検証を実施しています。水力発電所から生み出される再生可能エネルギーと海上送電インフラを組み合わせることで、化石燃料由来の発電に依存する周辺離島の脱炭素化に貢献するもので、本検証の結果を通じ他の地域への社会実装の実現にも取り組んでいきます。

今般、本出資を通じて、みずほ銀行は、パワーエックス、海上パワーグリッドとともに、日本のエネルギー自給率の向上や離島・沿岸地域におけるエネルギー供給制約、電力の偏在化といった社会課題の解決に取り組んでいきます。電気運搬船を活用し、社会全体の電力配分最適化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

※トランジション出資枠

2023年3月13日付 みずほFG ニュースリリース

トランジション領域における出資枠の対象範囲拡大について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230313release_jp.pdf

【出資先企業の概要】

会社名	株式会社海上パワーグリッド
所在地	東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー 43 階
代表者	代表取締役会長 伊藤 正裕 代表取締役社長 大西 英之
設立	2024 年 2月9日
URL	https://oceanpowergrid.jp/ (海上パワーグリッドの HP に移動します)

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO